

ウルドゥー語の名詞述語文・情報構造 —アンケートの分析—

萬宮 健策

1. ウルドゥー語とは

本稿では、ウルドゥー語の文例を挙げ、その特徴を考察する。なお、本稿でウルドゥー語という場合、特に断らない限り、ヒンディー語も同一言語と考える。その根拠として、ウルドゥー語とヒンディー語は、本稿で扱う会話文のレベルでは、相互理解が可能である点が挙げられる。本稿における固有名詞はウルドゥー語の話者に多いムスリム（イスラーム教徒）の名前を用いているが、文意はヒンディー語を第一言語として用いるものにも、全く問題なく通用するためである。

ウルドゥー語は、パキスタンおよび北インドを中心に母語話者約 6000 万人を有する。ヒンディー語は北インドを中心に母語話者約 4 億人を有する。ともに新期インド・アーリヤ諸語(New Indo-Aryan)に属するインド語派の 1 つである。SOV 形式をとる屈折語であり、南アジア地域における言語の壁を越えた共通語としての役割を果たしている。

2. ウルドゥー語の文例と考察

以下、例文の分析を行う¹。例文には、必要に応じてチェックを行っていただいたインフォーマントとやりとりで気付きの点を付してある。

[1] 「えっ、アフマドが来たの?」「いや、アフマドじゃなくてアーミルが来たんだ。」

haiṅ,	kyā	ahmad	āyā thā?	nahīṅ,	ahmad
えっ	虚辞	アフマド NOM.	来る PST-PFV.m.sg.	否定辞	アフマド NOM.
to	nahīṅ,	āmīr	āyā thā		
強調	否定辞	アーミル NOM.	来る PST-PFV.m.sg.		

[2] 「誰が来た (の)?」「アフマドが来たよ。」

kaun	kaun	āyā?	ahmad	āyā
誰 NOM.	誰 NOM.	来る PST.m.sg.	アフマド NOM.	来る PST.m.sg.

話の流れを考えると、「(何らかの集団の中で) 誰が来たのか」という表現をするのが

¹ 本稿で挙げた例文は、スハイル・アッパーズ東京外国語大学客員教授（40代男性。第一言語がウルドゥー語（母語はバンジャールビー語）。日本滞在歴5年目）によるネイティブ・チェックを行っている。記して謝意を表す。

一般的で、その場合疑問代名詞「誰」kaun を繰り返す方が自然である。誰と誰が来たのか、という意味である。

[3] 「アフマドの方が大きいんじゃないの?」「いや、アフマドじゃなくて、アーミルの方が大きいんだよ。」

ahmad	ka	qad	āmir	ke	
アフマド OBL.m.sg.	GEN.m.sg.	身長 NOM.m.sg.	アーミル OBL.m.sg.	GEN.OBL.m.sg. ²	
qad	se	lambā	to	nahīn?	
身長 OBL.m.sg.	ABL.	高い ADJ.m.sg.	強調	否定辞	
nahīn,	ahmad	se	āmir	ka	qad
否定辞	アフマド OBL.m.sg.	ABL.	アーミル OBL.m.sg.	GEN.m.sg.	身長 NOM.m.sg.
zyāda	lambā	hai			
より ADV.	高い ADJ.m.sg.	COP.Pres.sg.			

[4] [電話で]「どうした(の)?」「うん、今、お客さんが来たんだ。」

(fon	par)	xairiyat	hai?	
電話 OBL.m.sg.	LOC.	無事 NOM.f.sg.	COP.Pres.sg.	
jī,	ab	ēk	gāhak	āyā
はい	今 ADV.	1	客 NOM.m.sg.	来る PST.m.sg.

「どうしたの」の直訳と言える“kyā huā (疑問詞「何」+ある PST.m.sg.)”は、何か目の前にいつもと違う状況が広がっていて「これはどうしたの」という意味で用いられる。例文の「どうしたの」は、直訳すれば、「大丈夫か?」に近い。

[5] 「あの子供がアフマドを叩いたんだって!?!」「いや、アフマドじゃなくて、アーミルを叩いたんだよ。」

sunā hai	ke	us	baccē	ne
聞く Pres-PFV.m.sg.	接続詞	あれ OBL.sg.	子ども OBL.m.sg.	ERG
ahmad	ko	mārā hai.	jī nahīn,	ahmad
アフマド OBL.m.sg.	DAT.	たたく Pres-PFV.m.sg.	否定	アフマド OBL.m.sg.
ko	nahīn,	āmir	ko	mārā hai
DAT.	否定	アーミル OBL.m.sg.	DAT.	たたく Pres-PFV.m.sg.

² グロス中、GEN.OBL.は、属格後置詞 ka の後置格形を示す。属格後置詞主格男性複数形と同形であるため、後置格形の場合のみ OBL.を付加した。

[6] 「赤い袋と青い袋があるけど、どっちを買う (の) ?」「(私は) 青い袋を買うよ。」

lāl	aur	nīlē	thailē	meṇ	se
赤 ADJ.OBL.	と	青 ADJ.OBL.sg.	袋 OBL.m.sg.	LOC.	ABL.
tum	kaunsā	lo ge?	nīlē wālā	(lūṅ gā)	
君 NOM.	どちら NOM.m.sg.	買う FUT.m.2.pl.	青 ADJ.OBL.-PTCP	(買う FUT.1.m.sg.)	

話し手, 聞き手ともに誤解がない場合, 主語および動詞の省略が可能となる. この会話では, 2人のみがいると仮定する場合, 聞かれたことへの返事の部分のみで十分に会話が成立する.

[7] 「アフマドはどうした?」「アフマドは朝からどっかへでかけたよ。」

ahmad	kidhar	hai?			
アフマド NOM.m.sg.	どちら ADJ.	COP.Pres.sg.			
ahmad	subah	se	kahīṅ	bāhar	
アフマド NOM.m.sg.	朝 OBL.f.sg.	ABL.	どこか	外 ADV.	
gayā hai					
行く Pres-PFV.m.sg.					

[4]と同様の理由で, 「どうした」という表現は用いられず, 「どこだ」という疑問文になる.

[8] 「(あの子供は) 誰を叩いたの?」「(あの子供は) 自分の弟を叩いたんだ。」

(us	baccē	ne)	kis	ko
(あの OBL.sg.	子供 OBL.m.sg.	ERG)	誰 OBL.sg.	DAT.
mārā hai?				
叩く Pres-PFV.m.sg.				
(us	baccē	ne)	apnē	bhāī
(あの OBL.sg.	子供 OBL.m.sg.	ERG)	自分の OBL.m.sg.	弟 OBL.m.sg.
ko	mārā hai			
DAT.	叩く Pres-PFV.m.sg.			

[6]と同様の理由で, ()内の部分は省略が可能となる.

[9] [電話で]「どうした (の) ?」「うん, アフマドが (自分の) 弟を叩いたんだ。」

(fon	par)	kyā	huā?		
(電話 OBL.m.sg.	LOC.)	何 NOM.	ある PST.m.sg.		
hāṅ,	ahmad	ne	apnē	bhāī	ko
うん	アフマド OBL.m.sg.	ERG	自分の OBL.m.sg.	弟 OBL.m.sg.	DAT.

mārā hai

叩く Pres-PFV.m.sg.

この場合は、電話である程度状況が把握できていると考えられるため、「どうしたの」という表現が用いられる。

[10] 「あのケーキ， どうした？」 「ああ， (あれは) アフマドが食べちゃったよ。」

vō	kēk	kahān	hai?	
あの NOM.sg.	ケーキ NOM.m.sg.	どこ ADV.	ある Pres.sg.	
acchā,	(vō	to)	ahmad	ne
ああ	(あれ NOM.sg.	強調)	アフマド OBL.m.sg.	ERG

khā liyā hai

食べる STEM-PTCP.Pres.PFTV.m.sg.

kyā hō gayā は、そこにケーキがあって、思っていた状況と違う場合（たとえば、腐ってしまっていた場合、つぶされてしまっていた場合など）に「どうした？」と聞けるが、食べてなくなってしまう場合は「どこへいった」という言い方が適切である。

[11] 「私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。」

jō	kal	main	dukān	se	lāyā thā,
関代 NOM.	昨日 ADV.	私 NOM.	店 OBL.f.sg.	ABL.	得る PST-PFV.m.sg.
vō	yē	kitāb	hai		
それ	この	本 NOM.f.sg.	COP.Pres.sg.		

vō yē kitāb hai は、文頭に持ってくるか、上記例文どおり文末に持ってくるかで表現に差が出る。文頭に持ってきた方が、他でもないまさにこの本、という点が強調される。

[12] 「あの人は先生だ。この学校でもう3年働いている。」

vo	ādmī	ustād	hai.		
あの	人 NOM.m.sg.	先生 NOM.m.sg.	COP.Pres.sg.		
(vo)	is	iskūl	meṅ	tīn sāl	se
(彼)	この OBL.sg.	学校 OBL.m.sg.	LOC.	3年 ADV.	ABL.
kām	kar rahā hai				
仕事 NOM.m.sg.	する STEM.-Pres.Prog.m.sg.				

同一人物を指している場合、2回目の人称代名詞は通常省略される。

[13] 「彼のお父さんは、あの人だ。」

[13-1] us ke wālid vō haiṅ
 彼 OBL.sg. GEN.m.pl. 父 NOM.m.pl. 彼 NOM.pl. COP.Pres.pl.

[13-2] us ke vō wālid haiṅ
 彼 OBL.sg. GEN.m.pl. 彼 NOM.pl. 父 NOM.m.pl. COP.Pres.pl.

[13-2]の方が、「あの人」により力点を置く表現となる。

[14] 「あの人が彼のお父さんだ。」

vō us ke wālid haiṅ
 彼 NOM.pl. 彼 OBL.sg. GEN.m.pl. 父 NOM.pl. COP.Pres.pl.

[13][14]ともに、父親は自分の家族であっても尊敬の対象となるため、指示代名詞、コピュラともに複数形を用いることで敬意を表現している。

[15] 「あさってってというのはね、あしたの次の日のことだよ。」

parsōṅ ka matlab hai, ānē wālē
 あさって ADV. GEN.m.sg. 意味 NOM.m.sg. COP.Pres.sg. 来る OBL.-PTCP.

kal ka aglā din
 翌日 ADV. GEN.m.sg. 次の ADJ.m.sg. 日 NOM.m.sg.

[16] 「何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて」 「私はコーヒーだ。」

kāfi

コーヒー-NOM.f.sg.

口語の場合は、「コーヒー」の語彙だけで十分だが、ウルドゥー語では、いわゆる「ウナギ文」は許されないため、文にする場合は、「私はコーヒーを飲む」「コーヒーをください」など、動詞を補う必要がある。

[17] 「注文した数人分のお茶が運ばれて来て「どなたがコーヒーですか？」との問いに」「コーヒーは私だ。」

kāfi kis kī hai?
 コーヒー-NOM.f.sg. 誰 OBL. GEN.f. COP.Pres.sg.

kāfi mērī hai
 コーヒー-NOM.f.sg. 私 GEN.f.sg. COP.Pres.sg.

[16]に加え、逆ウナギ文も許されないため、「コーヒーは私のだ」と補う必要がある。

[18] 「その新しくて厚い本は（値段が）高い。」

vo	naī	aur	moḥī	kitāb
その	新しい ADJ.f.	そして	厚い ADJ.f.	本 NOM.f.sg.
mahangī	hai			
高い ADJ.f.	COP.Pres.sg.			

[19] [砂糖の入れ物を開けて]「あっ、砂糖が無くなっているよ！」

arē,	cīnī	xatam hō gāī
あっ、	砂糖 NOM.f.sg.	終わる PST.f.sg.

[20] 「午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ。あっ、そうだ！ アフマドだったな。」

āj	dō pahr	ke	bād	kisī
今日 ADV.	昼 ADV.	GEN.OBL.m.sg.	あと ADV.	誰か OBL.sg.
se	milnā	thā?	kis	se?
ABL.	会う INF.	COP.PST.m.sg.	誰 OBL.sg.	ABL.
hān,	yād	āyā!	ahmad	se
あっ、	記憶 NOM.f.sg.	来る PST.m.sg.	アフマド OBL.m.sg.	ABL.

3. ウルドゥー語における省略

ウルドゥー語は、口語レベルで、その話題の参加者が誤解なく理解できると話者が判断すれば、主語の省略はよく見られる。たとえば、例文[12]では、2つ目の文の主語が（ ）で囲まれているが、1つ目の文の主語と同一人物であり、どちらの文も主語は主格で表されるため、口語レベルでは通常省略される。しかし、複数の文の主語が同一であっても、複数の文でその格が異なる場合、たとえば、与格構文や能格構文となる場合は、あらためて表示される。

コピュラ文におけるコピュラの省略は、口語表現の例文[16]など限定された状況でのみ確認され、通常はおきない。例文[15]は、一見体言止めのような表現となっているが、口語表現によく見られる倒置であり、学校文法では、コピュラ以降の部分が、「意味」をあらわす語彙の後に続く語順となる。

4. 否定疑問

ウルドゥー語における否定疑問文の答え方は、学校文法では疑問文が肯定であれ否定であれ、事実がどうかを判断して答えるという説明である。しかし実際の会話では、聞かれたことに答える人も少なからず見受けられる。統計があるわけではないが、筆者の印象で

は、若年層ほど聞かれたことに答える割合が高い。

4. 略語一覧

本稿におけるグロスの略語は、The Leipzig Glossing Rules³に従っている。

ABL.	奪格
ADJ.	形容詞
ADV.	副詞
COP.	コピュラ
DAT.	与格
ERG.	能格
f.	女性
FUT.	未来
INF.	不定詞
LOC.	位置格
GEN.	属格
m.	男性
NOM.	主格
OBL.	後置格
PFV.	完了
pl.	複数
Pres.	現在
Prog.	進行形
PST.	過去
PTCP.	分詞
sg.	単数
STEM.	語幹

参考文献

英文

Barker, Muhammad Abd-al-Rahman. et al. 1975. *Spoken Urdu: A course in Urdu (3 vols.)* New York: Spoken Language Services, (Inc.).

和文

鈴木斌. 1996. *ウルドゥー語文法の要点*, 大学書林.

³ 詳細は、<https://www.eva.mpg.de/lingua/pdf/Glossing-Rules.pdf> を参照されたい。

